

第1課

人称代名詞（1 格）と
動詞の現在人称変化（1）

この課の学習ポイント

私は遊ぶ。 Ich spiele.

彼は働く。 Er arbeitet.

1. 人称代名詞

ドイツ語の動詞は現在形と過去形などで主語に合わせて変化します。これを人称変化といいます。

その主語になる人称代名詞には次のものがあります。

	単 数			複 数		
	日本語	英語	ドイツ語	日本語	英語	ドイツ語
1 人称	私は	I	ich	私たちは	we	wir
2 人称	あなたは	you		あなたたちは	you	
	親称		du	親称		ihr
	敬称		Sie	敬称		Sie
3 人称	彼は	he	er	彼らは	they	sie
	彼女は	she	sie	彼女らは		
	それは	it	es	それらは		

1 人称の「私」は、ドイツ語では文頭以外奥ゆかしく小文字で書きます。

2 人称は、日本語では「あなた、君、おまえ、てめえ、おぬし」などから相手の名前を言う・一切省略するなど限りなくありますが、ドイツ語では2種類です。親称は文字どおり、親しい間柄の人（友だち・家族・親戚）や子ども・動物・神などに話しかける時使います。それに対して敬称は、（まだ）親しくない大人に用います。日本のように目下や年下は敬語を使い、目上や年上はぶっきらぼうな言い方をするという使い分けはありません。親しければ双方が親称を、親しくなければ双方が敬称を使い、同じ目線でキャッチボールします。

本書の和訳では、敬称にはです・ます調や敬語を、親称には男女の話し言葉を使っていますが、皆さんが日常会話でお使いの方言なども親称に使うと、ドイツ語の使い分けの感覚がつかめるでしょう。また、バリエーション豊かに和訳しているのは、これらがみな同じ不定詞句から簡単にできることを理解して慣れていただきたいからです。

すべての名詞が3人称に該当します。その際、山田氏が彼、山田夫人が彼女と言い換えられるだけではなく、男性名詞（たとえば着物 Kimono やスプーン Löffel）を言い換える時も彼（er）に、女性名詞（たとえば畳 Tatami-Matte やフォーク Gabel）をさす時も彼女（sie）に、中性名詞（たとえば子ども Kind やナイフ Messer）をさす時はそれ（es）になります。それが2つ（2人）以上ならば3人称複数の彼ら（sie）にあたります。

2. 規則動詞の現在人称変化

動詞の不定詞は、まだ主語も時制も文の種類も定まっていない「不定な」形で、これからいろいろな使い方のできる形です。辞書にはこの形で載っているので、いろいろ変化したものは、逆に不定詞に戻さないと見つかりません。

不定詞に対して、主語や時制によって変化したものを「定動詞」といいます。

不定詞は語幹と語尾から成り立っていて、語尾はたいてい **-en** です（**-n** だけの語も若干あります）。規則動詞の現在人称変化では語幹はそのまま、語尾だけが主語に合わせて変化（人称変化）します。

例 **spiel**en
語幹 語尾

不定詞句では日本語と同じく最後にある動詞は、ドイツ語の文では文の種類（平叙文、疑問文など）によって決まっている位置に、時制（現在形や過去形）と主語によって決まっている形（＝定動詞）に変えて移動させます。時制が現在形の場合は現在人称変化といい、次のようになります。

第21課 前置詞 (2)

この課の学習ポイント

机の上で auf dem Tisch
机の上へ auf den Tisch

1. 3・4 格支配の前置詞

次の9つの前置詞はあとに3格が来る場合と4格が来る場合があります。

3 格=存在する場所、行為が行われる場所、wo? に対する答え

4 格=移動する方向、wohin? に対する答え

CD

an	の側面	壁に・で 壁へ	an der Wand ㊦ 3 格 an die Wand ㊦ 4 格
auf	の上	机の上に・で 机の上へ	auf dem Tisch ㊦ 3 格 auf den Tisch ㊦ 4 格
hinter	の後ろ	私の後ろに・で 私の後ろへ	hinter mir 3 格 hinter mich 4 格
in	の中	部屋の中に・で 部屋の中へ	in dem (= im) Zimmer ㊦ 3 格 in das (= ins) Zimmer ㊦ 4 格
neben	の隣	スーパーの隣に・で スーパーの隣へ	neben dem Supermarkt ㊦ 3 格 neben den Supermarkt ㊦ 4 格
über	の上方	町の上方に・で 町の上方へ	über der Stadt ㊦ 3 格 über die Stadt ㊦ 4 格
unter	の下	橋の下に・で 橋の下へ	unter der Brücke ㊦ 3 格 unter die Brücke ㊦ 4 格
vor	の前	家の前に・で 家の前へ	vor dem Haus ㊦ 3 格 vor das Haus ㊦ 4 格
	の前 (時間)	授業の前に	vor dem Unterricht ㊦ 3 格

zwischen	の間	A と B の間に A と B の間へ	zwischen A3 格 und B3 格 zwischen A4 格 und B4 格
	の間 (時間)	3 時と 4 時の間に	zwischen drei (Uhr) und vier Uhr

部屋の中にある・いる、部屋の中で遊ぶ・勉強するは、いずれも場所なので、3 格の in dem (= im) Zimmer sein/ spielen/ lernen

部屋の中へ・に行く、来る、投げる、落ちるはいずれも方向なので、4 格の in das (= ins) Zimmer gehen/ kommen/ werfen/ fallen

となります。

では「部屋の中で走り回っている」はどうでしょうか？

正解 場所です。「その中でじっとしている・動いている」は関係ありません。それに対して「部屋の中へ駆け込む」「亀が部屋の中へ這ってくる」はいずれも方向です。

時間に使われる時は 3 格支配です。

チェック () の中に前置詞を、下線部に冠詞 (類) の語尾を入れて、前置詞句を完成させてください。d ____ は定冠詞で、最後のヒントはその名詞の性です。

机の上に・で	() d ____ Tisch ㊦
机の上へ	() d ____ Tisch ㊦
町の上方に・で	() d ____ Stadt ㊦
町の上方へ	() d ____ Stadt ㊦
橋の下に・で	() d ____ Brücke ㊦
橋の下へ	() d ____ Brücke ㊦
家の前に・で	() d ____ Haus ㊦
家の前へ	() d ____ Haus ㊦
授業の前に	() d ____ Unterricht ㊦
私の後ろに・で	() mir 3 格
私の後ろへ	() mich 4 格
部屋の中に・で	() d ____ Zimmer ㊦